

事業所名 スタディ

公表:令和3年 3月 25日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置の人数よりも多く配置し、子どもの支援を重視して行っています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			パート職員が綺麗に掃除を毎朝してくれているので綺麗を保っています。	引き続き、職員も含めて綺麗な環境を整えていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCAサイクルで、その都度目標を確認し、振り返りを行うことで職員同志連携して行うことが出来ています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			面接のたびに、保護者の意見を聞き、療育に取り入れるように行っています。	引き続き、保護者の思いや意見を大切にしながら、共に子どもを育てていけるように協力していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、結果をまとめ、ホームページに公表しています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			コンサルテーションを受け、業務改善につなげています。	外部評価を行うことで、見えないことが見えたり、改善することが新たに分かることがあるので、評価を真摯に受け止め改善を行っていきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			沢山の研修があり、学ぶ機会が多くあります。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			職員同志でもアセスメントを行い、子どもや親のニーズを分析したうえで計画を作成しています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを作成して行っています。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画に沿って日々の支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案を作成し、保護者に配布し、それに基づいて療育するが臨機応変に変更する場合があります。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動の見通しが持ちやすいように、基本の流れは毎日同じ。公園や製作などの活動は臨機応変に取り入れています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			子どもの様子に合わせて対応を変えて行っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、パート職員とも打ち合わせをし、活動や子どもの様子を確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを行い、次の日の支援に活かせるよう行っています。	職員同志で、振り返りを行い、同じ方向性で支援が出来るように今後も行っていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をし、改善につなげています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを行い、計画の見直しを行い子どもの状態に合わせた計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っているか	○			クリニックや相談室と連携して支援を行っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			保育園に併用する子どもがいるので、電話で連絡を取り行っています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育園と併用している子どもがいるので、今後について話し合いを持っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			並行している事業所や学習会で連携を図っています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				

	⑳ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			研修に参加しています。	
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者との連絡を密にとり、理解を深めています。	引き続き、保護者との面談を大切にし、保護者の思いに寄り添いながら行っていきます。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			アンガーマネジメントやCSPを通して家族支援を行っています。	CSPを行うことで保護者の方が子どもへの関わりが変わったなどの話があるので引き続き行っていきます。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			保護者一人一人と面談をし、保護者の意見も取り入れながら進めています。	
	㉕ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援を行い、話をしています。	保護者の方からの申し入れや、悩みのある方は必ず時間を取り話し、一緒に良い方向に向かえるように今後も行っていきます。
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年はコロナのため、集まりは例年より少なかったが、卒園文集など父母会中心に行き連携を図っています。	
	㉗ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページで活動の様子など定期的に発信しています。	
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			定期的に電話がけを行ったり、ノートに様子を書くなど、保護者に合わせて行っています。	
	㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	非常時等の対応	㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各マニュアルを作成しています。
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			月に一回避難訓練を実施しています。	
㉞ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○			保護者と連絡をとり、把握をしています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			医師の診断書を必ず提出し、対応しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			書類を作成し、事業所内で共有をしています。	法人内のヒヤリハットを共有することで注意喚起が出来るので今後も共有していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修をし、毎週、離れる練習や助けを求める練習を行っています。	継続して離れる練習や助けを求める練習を行い、躊躇なく助けを求めて子どもを守っていきます。。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			児童発達支援計画に記載しています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。